

道の駅の川の東西に 公園を作る理由は

山田 門左工門議員



道の駅と森川花はす田を生かす

産業建設部長



▲道の駅、川を挟み東西2つの公園を工事中

問 道の駅再整備計画が進められているが、鵜戸川を挟んで西側と東側に

都市公園を2カ所も設置する計画となっており、管理も分散となるため非効率となるだけでなく、駐車場も2カ所になり危険である。1カ所に集約しなかった理由は何か。

答 道の駅周辺整備事業は、既存の道の駅リニューアルと、森川花はす田を生かした新たな都市公園を一体的に整備し、観光拠

点にすることを整備方針としている。

問 従来、花はす田は、農業用地を賃貸借契約により締結していたが、当時のまま契約を継続した方が投資金額も低減できたのではないか。賃貸借契約の締結時期と平米単価はどうか。

答 これまで賃借してきた用地を買収し、市の責任において整備することが肝要であると考える。

これまでの賃借料は場所に違いがあるが、1㎡あたり、約60円から68円。当初の契約は旧立田村が締結している。

学校規模適正化で 防災の検討は

答 防災、地域交流の場などの機能については、準備委員会を組織して検討協議を進めていきたい。教育委員会における議論、成果物は、有識者を含めた検討協議会からの意見・アンケートなどを参考に協議を行い、適正化事業を進めていく。

問 本年1月1日に発生した能登半島地震では、避難場所になった学校施設に大勢の住民が押し寄せたが、電気も水道もない状況だった。文科省からも学校施設を単なる教育施設ではなく、災害時の避難場所として機能するよう指示書も出されている。本市において、学校規模適正化の第一期基本計画書が作成されているが、防災拠点と地域コミュニティについて、記述がない。教育委員会では、どんな議論が行われ結論を出したのか、その成果物は何か。

問 学校規模適正化を進める場合、文科省は平成27年に作成した手引書に基づいて検討するとしているが教育委員に対して、どのように理解させたのか。

答 教育委員に対し、文科省の手引書に係る勉強会や研修は行っていない。

これまでの賃借料は場所に違いがあるが、1㎡あたり、約60円から68円。当初の契約は旧立田村が締結している。

問 学校規模適正化を進める場合、文科省は平成27年に作成した手引書に基づいて検討するとしているが教育委員に対して、どのように理解させたのか。

答 教育委員に対し、文科省の手引書に係る勉強会や研修は行っていない。